

駒岡地区社協だより

第23号

発行日 令和4年9月25日

発行元：駒岡地区社会福祉協議会 小塚邦夫

★令和4年度駒岡地区社会福祉協議会定例総会のご報告

日頃より地区社協活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

駒岡地区社協では、例年「駒岡地区社会福祉協議会定例総会」を開催しておりますが、昨年度と同じく、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面での総会といたしました事をご報告いたします。

令和3年度事業報告、決算報告、令和4年度事業計画案、予算案につきましては、書面表決により承認されました。

なお、事業計画につきましては、新型コロナウイルス感染の状況により、時期、内容が変更、中止になる場合もありますことをご理解いただきご了承願います。

◆令和4年度 事業計画と予算について

■事業費（50%）：駒岡地区社協が協賛及び助成している行事、団体活動

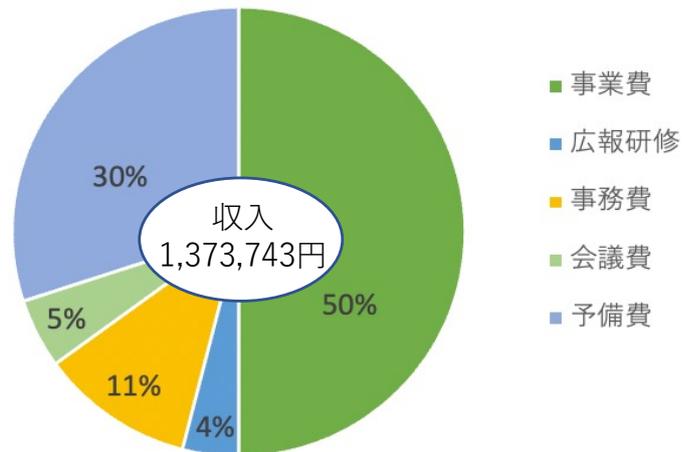
- ・きらく会
- ・駒岡地区連合運動会
- ・育児サークルいちごの家
- ・子ども会 紙飛行機大会
- ・民生委員児童委員見守り活動
- ・敬老慰安会
- ・健歩会
- ・水曜茶ロン

■広報研修費（4%）

■事務費（11%）

■会議費、渉外費、会費、その他（5%）

■予備費（30%）



◆役員交代について

・駒岡地区連合子ども会長、堀 舞さんの後任に簾内千加さんが就任承諾されました。

※収入の内訳は：市社協からの交付金、区社協からの共同募の世帯還元（@15×世帯数）、共同募金還元金（実績の15%）、区推進事業の上乗せ助成金、賛助会費配当金（会費の55%）、事業参加費、予備費など

駒岡地区社協の役員は、各自治会、町会長、民生委員、児童委員や保護司、婦人部、保健活動推進委員、スポーツ推進委員、子ども会、老人クラブの代表者などで構成されています。

★駒岡地区社協が協賛及び助成している団体の活動報告

◆敬老慰安祝賀会

昨年につき、今年度も開催中止となりました。
記念品を贈呈いたしました。



◆「我が家の資源で横浜の福祉を支えよう」プロジェクトに引き続き協力します。



ヨロシク！です

★9月4日に駒岡小学校体育館で駒岡地区防災拠点訓練が実施されました。

2年ぶりに開催された昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者は駒岡小学校岸田校長と担当職員、区役所職員、消防署職員、各町会役員のみとし、人数を大幅に縮小し実施いたしました。

訓練では、各部署の組織や連携体制の確認や、円滑な地域防災拠点運営についての説明がありました。駒岡連合町会小塚邦夫会長からは昨年度より更に具体的な指揮指令体制の確認や避難所設営の説明がありました。



参加された各町会の皆さん

小塚邦夫会長



駒岡消防署の望月署長からは、駒岡小学校敷地内にある防災備蓄庫の備蓄品についての説明がされ、それらの取り扱いについては駒岡消防団の方々による動作確認が行われました。

東日本大震災後に岩手県宮古市で災害派遣経験のある望月署長は「災害訓練をしてきても、実際の災害現場では計画通りにいかないことが多々ありました。しかし、訓練をしていなければ何もできなかったけれど、計画、訓練してきたからこそ、できたこともたくさんありました。」と話され、宮古市の方々から共助の重要性を学んだことも教えてくださいました。それから「地震、風水害が発災されたときに、消防隊や地域消防団員は被災場所に出動していると思うので避難所には不在となります。その時に避難所で重要となるのが常日頃からの地域のつながりです。地域の皆様に共助していただきたい。」というお言葉をいただきました。

鶴見区役所高島課長からも「横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例」を施行し、「自助」「共助」「公助」の考えに基づき、震災対策を進めているお話をしていただきました。



入り口では手指消毒と検温を実施



望月署長の備蓄品の説明



消防団による動作確認

町会ごとに人数確認の様子



★編集後記★



いつも初夏の頃になると、盆踊りに向けての和太鼓教室のお知らせが、掲示板にはり出されました。「駒岡の夏が来るう〜！」とワクワクしたものです。3年ぶりに「和太鼓教室の募集」のお知らせを掲示板で見て、かつての子ども達もとてもワクワクしていました。

これに参加したという知り合いの子が「太鼓をはじめたんだ！」とピカピカのドヤ顔をみせてくれました。今年の発表の場はなかったけれど、来年、再来年にはきっと太鼓をたたけるはず。

大人たちは楽しみにしていますよ〜！ **Keep on practice**❤️